

R7年度「保育者の自己評価のためのチェックリスト」

宮代町立みやしろ保育園

○ABCの評価については、以下の基準の通りです。
 設問ごとに「できている～ほぼできている」と回答した割合が90%以上・・・A
 80%以上・・・B
 79%以下・・・C

第1章 総則

1、保育所保育に関する基本原則

	設問	回答
1	『保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的としている。入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場でなければならない。』そのことを理解しようと努めていますか。 (※児童福祉法39条)	A
2	保育の目標は、『子どもの保育を通して、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うこと』である。そのことを理解しようと努めていますか。 (※保育所保育指針より)	A
3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。	A

2、養護に関する基本的事項、幼児教育を行う施設として共有すべき事項

	設問	回答
4	一人一人のこどもの育ちや家庭環境を考慮し、その子に何が必要かを考えて援助をしていますか。	A
5	こどもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	A

3、保育の計画及び評価 ※クラス担当保育士のみ回答

	設問	回答
6	指導計画は、「保育過程」や「全体計画」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づいて作成していますか。	A
7	指導計画にはこどもの生活経験や発達過程などを考慮し、具体的なねらいと内容が設定されていますか。	A
8	こどもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。	A
9	こども一人一人の発達を理解し、指導計画に活かせるよう、日々の保育記録を取っていますか。	A
10	毎月、指導計画の評価、反省を行い、次の指導計画に活かしていますか。	A
11	こどもが楽しく食事できるように、食育の計画を作成していますか。	A

4、障がい児保育 ※該当クラス担当のみ回答

	設問	回答
12	障がいのあるこどもの保育について、職員間で情報交換や話し合いの機会を持ったり、こどもに合わせた個別支援計画を立てていますか。	A
13	療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を求めたり受けたりしていますか。 (保護者を通して含む)	A
14	障がいのあるこどもの保護者と日常的に話をする機会を設け、情報共有をしたり信頼関係の構築に努めたりしていますか。	A

15	障がいのあるなしに関わらず、互いの良さを感じとり、楽しく過ごせる雰囲気づくりを心掛けていますか。	A
----	--	---

第2章 「ねらい」及び「内容」

1、保育内容「健康」

	設問	回答
16	健康的な生活リズムを身につけるよう、1日の保育の時間配分をしたり、家庭との連携を取ったりしていますか。	A
17	食事の前や排せつ後の手洗いなど、生活に必要な習慣が身につくよう保育していますか。また、必要に応じて家庭との連携に努めていますか。	A

2、保育内容「人間関係」

	設問	回答
18	友だちとの関わりの中で、喜びや悲しみなどを共感する機会を大切にしていますか。	A
19	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助していますか。	A
20	こどものケンカやぶつかり合いを、友だちを知る機会や社会性が育つ過程として受け止め、安全の範囲内でその育ちを見守ることができますか。	A
21	こども同士で互いの良さを感じ取れるように保育していますか。	A

3、保育内容「環境」

	設問	回答
22	自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境や言葉がけを工夫していますか。	A
23	こどもが自由に出して遊べるよう遊具や用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	A
24	こどもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	A
25	リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れたり、戸外遊びなどを通して身体を適度に動かす遊びを楽しめるようにしていますか。	A

4、保育内容「言葉」

	設問	回答
26	ゆったりとこどもの言葉を聞き応答するなど、こどもが分からないことを尋ねやすい雰囲気を作っていますか。	A
27	挨拶や「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、理解して使うことができるように配慮していますか。	A
28	紙芝居や絵本などを通して、物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心掛けていますか。	A

5、保育内容「表現」

	設問	回答
29	歌ったり踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助していますか。	A
30	感動したことなどを伝え合ったり、思いを豊かに表現できるよう援助したりしていますか。	A

31	子どもが様々な音・色・形・手触り・動き・味・香りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか。	A
----	--	---

6、保育の実施上の配慮事項

	設問	回答
32	あなたの声の大きさは子どもにとっていつも適切な大きさですか。子どもの発達にや理解力に合わせて分かりやすい言葉で話しかけていますか。	A
33	「早くしましょう。」などせかす言葉を不必要に使わないで、状況や一人一人に合わせた対応を心がけていますか。	A
34	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育をしていますか。	A
35	子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	A

第3章 健康及び安全

1、健康支援

	設問	回答
36	登園時、子どもの健康観察を行っていますか。	A
37	発育及び発達の状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察していますか。	A
38	園内で感染症が発生したとき、発生状況や予防対策の把握ができていますか。	A
39	子どもの体調が悪くなったときに、保育士間で情報を共有し保護者と連絡を取ったり、十分に様子を伝えたりするよう心がけていますか。	A
40	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から看護師や職員間で連携が取れていますか。	A

2、食育

	設問	回答
41	子どもが無理なく、楽しく食事ができるように声かけや援助をしていますか。	A
42	食事の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか。	A

3. 安全管理

	設問	回答
43	おむつを交換をする際は、丁寧に手洗いをしていますか。	A
44	子どもが活動しやすいように、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか。	A
45	大人の食事を子どもに分け与えていませんか。不平等や誤食に繋がります。	A
46	子どもの手の届く範囲(棚上や床等)にあるものの落下や誤飲等、安全性について注意していますか。	A
47	怪我につながらなかったものも、危険を感じた段階で(ヒヤリハット)情報共有することで、子ども達が安心して安全に過ごせるよう努めていますか。	A
48	災害時や不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。また、職員間で連携が取れるように話し合っていますか。	A
49	災害時に使用する器具や設備(消火器や通報機器等)などの場所や使用方法を知っていますか。	A

第4章 子育て支援

	設問	回答
50	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎時に言葉を交わしたり、保護者と連絡帳などで情報交換をしたりするようにしていますか。	A
51	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	A
52	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など(支援センターや一時保育事業、こども誰でも登園制度等)、子育て支援のための町の取り組みを理解していますか。	A
53	虐待の早期発見を心がけ虐待が疑われる場合には上司に伝えるなどの対応ができますか。	A

第5章 職員の資質向上

	設問	回答
54	保育者として服装や身支度などに配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。	A
55	園の保育方針『生きる力の基礎を育む・主体的な活動を尊重し、自分で考え行動できる力を育む』や保育目標『あかるいこ(楽しく意欲的に活動できる子)・つよいこ(心も体も健やかな子)・すなおなこ(自分の気持ちを表現できる子)』を理解しようと努めていますか。	A
56	研修に参加したり、インターネット、専門書を読むなどして保育に関わる様々な知識や情報を日頃から収集するように心がけていますか。	A
57	保育士間で日々の保育について質問をしたり意見を交わしたりする振り返る時間を設けていますか。また、話し合える良好な関係を築いていますか。	A
58	不適切と思われる保育事例を把握した時、その場で伝える、話し合う、上司への報告等の対応を行っていますか。また、そのような状況時に行うことができますか。	A
59	あなたは自分の保育を振り返り、自分の保育の良さや問題点、課題をみつけることができますか。	A